

Eフレックス

アーチ構造により温度変化による配管の伸縮・偏芯を吸収する多目的タイプ



特長 Feature

- 本体のアーチ構造により大きな変位量が得られます。
- 軸方向の反力が小さいため、配管への取付けが簡単です。

用途 Usage

- 一般工場設備配管
- 化学プラント
- ポンプ・ブロー配管
- 船舶配管
- 下水処理プラント

種類 Kind

- 1山タイプ(地上用・埋設用)
- 2山タイプ(地上用・埋設用)
- 低圧用 / 高圧用

標準仕様 Standard issue

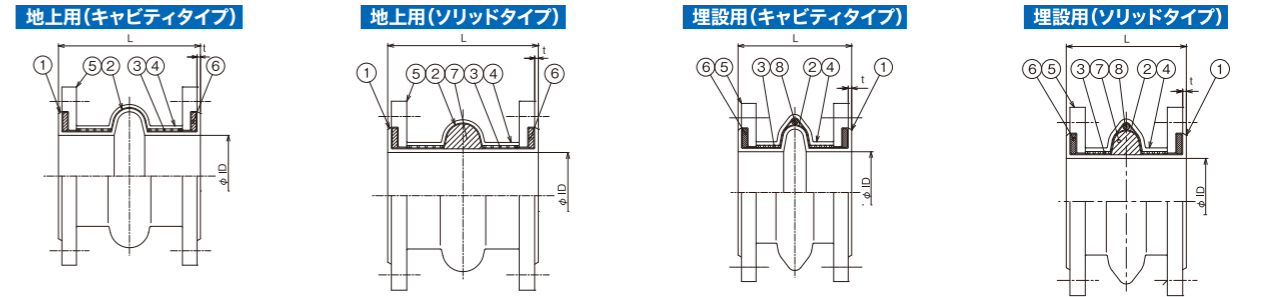
- 最高使用圧力：右記表の最高使用圧力をご参照下さい。
右記表の負圧を超えて使用される場合は埋設用構造をご使用下さい。埋設用構造は-90kPa迄使用可能。
最高使用圧力を超えてご使用の場合は、別途構造検討致しますのでお問い合わせ下さい。
- 最高使用温度：-10℃~60℃
- 設置条件：埋設用を使用する場合は、埋設深さを1M~3Mの範囲として下さい。
また、最大車両重量は25Ton以下として下さい。
- 流体が気体の場合は、最高使用圧力が変わりますのでお問い合わせ下さい。
- 汚水・粉体などの沈殿しやすい流体に適した内面ストレートタイプのソリッドタイプ(埋ゴム)も製作可能です。
- 内圧により発生する軸方向の推力規制や過大变位の防止にはコントロールユニット(タイロッドボルトタイプ)付をご使用下さい。
また、取付時の面間寸法の調整にはコントロールユニット(セットボルトタイプ)付をご使用下さい。(P25をご参照下さい。)

- (1) 加圧・増圧給水ポンプのデリバリ側等、圧力変動の繰返しが頻繁に発生する箇所には使用出来ません。
- (2) 基本的にゴムの弾力性を劣化させる恐れのある流体及び取付箇所では使用は出来ません。ご使用には検討が必要ですので別途ご相談下さい。

取扱い上のご注意 Handling instructions

- 当製品は、内圧の負荷により反力が生じます。取付配管等には、固定点・サポート等が必要となります。(P26~P28をご参照下さい。)
- その他の取扱い上のご注意はP26~P28をご参照下さい。

構造 Structure



番号	品名	材質	番号	品名	材質
1	内面ゴム	合成ゴム	5	フランジ	SS400, SUS304等
2	補強層	合成繊維	6	エンドリング	SS400
3	補強層	鋼線または合成繊維	7	埋ゴム	合成ゴム
4	外面ゴム	合成ゴム	8	補強リング	SS400

内面ゴムの材質選定については、P25の「ゴムの選定ガイド」をご参照下さい。

- 標準品はJIS10Kフランジを使用。JIS5K, JIS20K, 上水, JPI, ANSI等の各規格フランジも対応可能です。
- フランジの材質は、標準品SS400, SUS304の他に、SUS316, SUS316L, S25C等も対応可能です。
- SS400のフランジは地上用が溶融亜鉛メッキ(Znメッキ)・埋設用は黒色エポキシ樹脂系塗装が標準です。別途塗装品も対応可能です。
- 25A以下の口元内径にはR加工が施してあります。

寸法及び許容変位量 Size

呼称	φID [mm]	t [mm]	1山タイプ					2山タイプ					最高使用圧力		
			L [mm]	伸張 [mm]	圧縮 [mm]	偏芯 [mm]	質量 [kg]	L [mm]	伸張 [mm]	圧縮 [mm]	偏芯 [mm]	質量 [kg]	内圧 [MPa]		負圧 [kPa]
													低圧用	高圧用	
20A	19	2	150	6	7	20	1.6	250	12	15	40	1.6	—	1.00	-60
25A	25	2	150	6	7	20	2.5	250	12	15	40	2.5	—	1.00	-60
32A	32	2	150	6	7	20	3.3	250	12	15	40	3.3	—	1.00	-60
40A	38	2	150	6	7	20	3.5	250	12	15	40	3.5	—	1.00	-60
50A	51	3	150	10	15	20	4.2	250	20	30	40	4.7	—	1.00	-60
65A	64	3	150	10	15	20	5.9	250	20	30	40	6.4	—	1.00	-60
80A	76	3	150	10	15	20	6.1	250	20	30	40	6.7	—	1.00	-60
100A	102	3	150	15	20	30	7.3	250	30	40	60	8.2	—	1.00	-60
125A	127	3	150	15	20	30	10.9	250	30	40	60	11.9	—	1.00	-60
150A	152	3	200	20	20	30	14.9	300	40	40	60	16.1	—	1.00	-60
200A	203	3	200	20	20	30	17.8	300	40	40	60	19.5	—	1.00	-60
250A	254	3	200	25	25	30	25.7	300	50	50	60	27.8	—	1.00	-60
300A	305	3	200	25	25	30	29.7	300	50	50	60	32.3	0.50	1.00	-40
350A	350	3	250	25	25	30	39.1	400	50	50	60	43.4	0.50	1.00	-40
400A	400	3	250	25	25	30	54.0	400	50	50	60	59.0	0.50	1.00	-40
450A	450	3	250	25	25	30	67.1	400	50	50	60	72.8	0.50	1.00	-40
500A	500	3	250	25	25	30	76.1	400	50	50	60	82.7	0.50	1.00	-40
550A	550	3	250	25	25	30	96.1	400	50	50	60	103.1	0.25	0.75	-30
600A	600	3	300	25	25	30	104.3	500	50	50	60	114.3	0.25	0.75	-30
650A	650	3	300	25	25	30	118.2	500	50	50	60	129.0	0.25	0.75	-30
700A	700	3	300	25	25	30	140.9	500	50	50	60	152.8	0.25	0.75	-30
750A	750	3	300	25	25	30	171.0	500	50	50	60	184.0	0.25	0.75	-30
800A	800	3	300	25	25	30	190.1	500	50	50	60	204.8	0.25	0.50	-30
850A	850	3	300	25	25	30	197.4	500	50	50	60	213.0	0.25	0.50	-30
900A	900	3	300	25	25	30	202.5	500	50	50	60	219.0	0.25	0.50	-30
1000A	1000	3	300	25	25	30	245.0	500	50	50	60	263.7	0.25	0.50	-30

- 40A以下はすべてアーチ構造がソリッドタイプとなります。(P25をご参照下さい。)
- 50A以上の変位量はアーチ構造がキャビティタイプの場合の値です。ソリッドタイプの場合は上表の値に圧縮の場合は0.5、伸張の場合は0.6をかけて算出して下さい。(偏芯量は変わりません)
- 斜め配管時の変位量は上記値と異なりますのでその都度お問い合わせ下さい。
- 各変位は許容変位量の範囲でご使用下さい。
- 表中に示す各変位量は、単独変位の場合を示しますので複合変位の場合は補正を要します。補正方法についてはP26をご参照下さい。